行事性につぎ、瀬頭支那質局と交「油頭における日支交渉も漸く桐崎では対する油頭公安局或の不法器」十日夕飛行战で置東に鉤着したか

南總督の前閣僚招待

は林削首相(十九日澄隆ホテルで)

ーリンが共産版に對して政治

章の既正を行つた、将軍と、

事員及び停年制度の確立、服装<u>同</u>

恩案を聴取、これを中心として

| 管議室に於て大野球 | 渡行社と同様な組織とし、その事

度当行後勇強行に闘する構造

場長會議

策的原地から南端骨は海州島側「金井上百五十萬風で額面五十間、「四萬帝国を投じ農事就殿墓支墓。」局部所揚長原識はサー

数を行ふるのであるったか各線直事務所提供、海塩、悶産師など全面低期、腎室行に続うる状态の限料場。側側楔線を所、土木、嵩着、か、線道局で開催、貫

ける本府で全南案聽収

して以來數次に亘り調查。鄰保六十萬樣、このうも三十萬樣

州島開發會前の

創立案が中心

げる等全面的に半島警察官の待遇改善を断行する方針であるなポストを與へ出來るたけ各自の負擔を輕減し更に來る七月から警定員の關係から進級の出來ない優秀警察官も今度の增員による大異年月2日回じ宣うで登進を初め警察が理過されるがこれによって、全鮮二萬警察官のう

に人が増員され、國境、都市、農村に對し全面的に警備線を擴大することになったことでなったがこれに伴って七月ミ十月の二回に亘って警部、警部補が約五十名ミ巡査ので乗引がいるに対と場合の指導に乗政策認定がでしたとと決定、計九名の警視が 増員されらて来るようから、第二人権の権権に関係を指定して、二名の警察を指導するとに決定し、この外に人口的経緯に発展を指導を表現して、二名の警察を指導するとに決定し、この外に人口的経緯を整備警察署に昇格させ、そこに外事整定の擴充を目指して、二名の警察を指導するとに決定し、この外に人口的に通道者用、資流道海州、忠北道清州、忠南道大田、全南道光州の五警祭署を他道と同念の響を選出を思りたいを答案をは単和二定を表示して求るも見から思在経典であったがに答案を建したったの響点を認定しまっている。

印刷工警察署を警視室

能がは右交渉職者を中村関東部職解決の見込みがつくに至り、山崎 事に報告の上解決條件その他細目 總領事は一兩日中に廣東省政府主 につき打合をなし、之に基言中村

い警備線を呼

金融全権案に 上院の反對で

日午前二時二十五分 遂に總解職に上院の頑强な反對に遭ひ、二十一以線外閣は 金融全種法案に對する職線內閣は 金融全種法案に對する

| 廿日年前十時四十分飛行徳で入 | 三郎、旭駿、それからヤホヤのテ
| ◆久保田保氏(長雄江水竜常務) | ○日第の4号頃 | 切上前の中等質

の主翁の長次郎、小八龍の主管幸

て、いやに緻心してたちでねえの「おわしより、匪肺が一ばい嘆つ」。幸三郎が笑の出した。

七人であつたが、彼と記憶は個へ

出て、鍛は船を漕ぎ、加蔵は酒を

「それも次がつまらの事を云ふか

絶對に必要である。と順能に政府の決意を強べた後更に緊急開議を開き消後策を講することになつた ◆香推導太郎氏(後山路森復頭) ・ 日午後四時十五分退城 ・ 日午後四時十五分退城 ・ 新流州より帰城 ・ 田田 ・ 新流州より帰城 ・ 田田 ・

などに隣し異当を手交する害で、中村措施事に先立ち異態城主席お よび南欧外交特派遣刁作派氏を訪

杨億臨夫人 □一日馬山 | 月のない壁で、晒れてはゐるが水

西塵域がまぜかへした。そつばり弘はも筆の謎りだこ

船は白髭神社の前にみた。秋の

性交渉もこゝに解決を見るととな一間する皆である

◇高橋省三氏(高周波界初)廿二

その後の檢擧

天地支黃

とは、正に米國の他の半面を

佐、大佐の位際に分れ、最高の位

ンスイエコロフ、プリユッヘルに

政治部の壘を摩す

士として半島認識のために萬丈の

元帥聖か壁へいれた、送野外條例

軍事が国国語とは対し、大手中に

を描つてゐた要路の大鼠であつた

部細山用門各語音卷居民

具現化を叫ぶ ◇ ―朴春琴氏は語る

でもないが、便は彼宵ある年に ・ 一種の具現化、即ち内畔各種差 ・ 一種の具現化、即ち内畔各種差 ・ 即の成と、選坊被音の盗賊、脳上 ・ 即の成と、選坊被音の盗賊、脳上 ・ 化 及内地遊航者問題の内郷・ 元 ・ 化 化 大学 が一般となり否合語 4 一般により音句の大陸 が一般となり否合語 4

「つまらない理能を

芸みなど

『あるから往くことになりました

んかい

に毎上晋御門三ドーコレ器音蓋

催

すが、そこか

「おい、龍ちやん、つまんねえこ 「何がおかしいのだ、テッポかご 際の矢野が聞えて来た。

が 照つてゐる別を心ももよく 洗で 知太郎は傍に置いてある刀を手 幸三郎は別太郎からもらつた証

拙者がこれ

部になみな

呈進品粗及枚一券載抽 念記年週十八明発器音當

なかつたが、今晩は大丈夫だらうしてくれ、慎弘の討人も別になら

の日期、早んたい金原は何をする。人の官もやございませんか、耐水においませんか、耐水

「金を作つても、役人の家へは搾

十二月六 自 ・二月七 至 二月七 日六十

韭 會志同簡器音響城京 (符音喪典復往) 較 日一十三月七 發 城 京

間籤表 抽發 日待招 語音器祭

號

別が記さる

賣切にぬ中近肺の書店でお求め下さいお子様への贈り物には繪本が一帯!

三十五年 よりどれもながます。 とれもながます。 一般行きする 脚行きする

大評判 新發買

の四册

百までも

の にあられるものか、幸三郎の奴が 男が、婦が飲んでるのに、除まず「郷をも質に入れて飲みかねない」

勢以

盡作

(84)

子の魂

幹育家諸先生御推奨の は一刻もお早く、
ま子様の一生を支配しまた子様の一生を支配しま

講談社の繪本

十六名の生靈を吞んだナンガ・

曾員を受諾せん

藝術院に

院展事務所で韓妃、文部高局の一くも財命に唯能を投げかげられた





参列、恐怖な面様に何ものか決励

地知 免 で ・ で 大道 に で で 大道 に で で 大道 に で で かい 本道 に で で かい 本道 に で で 大道 に で で かい 本道 に で で 大道 に で で 大道 に で で 大道 に で で 大道 に で で かい な に で で 大道 に で で かい な に で かい な に で で かい な に で で で かい な に で で で かい な に で で かい な に で で かい な に で で で かい な に で で かい な は に で で かい な は に で かい な に で で で かい な に で で で かい な に で で が は に で で かい な に で で が は に で で かい な に で で がい な に で で がい な に で で がい な に で で かい な に で で がい な に で で かい な は に で かい な で な で かい な で な で な で かい な で な で な で な で な で な で な で な で な で

と時ごろ水原日旺面の一等道路トラック轉覆 十九日午



忠関北(温度昇る) 望ったり 歳 海(関東乃王) 晴れたり 天氣豫報

の謝時 (22)

(大月

廿二日ヨリ

額

h

仮の大

投賣り

友達を救はんとして

百米の地鑑で僅か二時間のらも水源に皆せられた可観な感覚二人と十五殿の水年、四十五線の大水遠に霧はれ樂しい廿日の日鵬の演江群はショー・ポートに水源に不服ひを記したが纏進下並五水道に 人の都合四人が旅ぎの出来ぬまくに水の犠牲となつて選江で水脈に對する危険電憩を高く揚げた



The first of the state of the s

八二般正像氏の四男根基源投げ、数ひ出さらと気候をきかせて持つ上金容剛程(こは同級生態運町) 弱れかけたので年上の杯基源岩が

突然深みに足を握はれ一般の手分けして配山器水上派出所 昆虫採集の惠化普校四年生

監察さんの長男忍化普通學校四

ŧ ひ切つた。 度外値段 算磐も度外して 安賣 場に脊陸した、モスコー川競以來 【操縦士の話】川門的経 **駄を変われ**



三氣分を出した流行歌―総妙の節廻しで妻戀より、第一線を行く上原敏が す素晴しい快作 人氣總ざらひを

一作。これだと

「ワシントン州バンクーパー」

かくて一旦泉宮に御崎環の上 概能々御下間あらせられた各般に亘りいと御路心に御礼

た始生が自信文部高はの庭塾を「試し越く文部高はの方針に歩み等」 安田、小林、園田の話氏も使くばにおいて仕事文部次院と問題「方戦、院殿との眺路等を任穏に被「大殿諸田さへ受罪すれば同人の明皇宗哲」二十月年後 - 獲役士 抱護する帝國獲術院に関する主書「高島も原陀を聞くに至った明皇宗哲」二十月年後 - 獲役士 抱護する帝國獲術院に関する主書「高島も原陀を聞くに至った」「「一般の一般に脱る「離びしている」「「一般の一般に関する」「「一般の一般に関する」「「一般の一般に関する」「「一般の一般に関する」

|改多語||、平尾信||、陽都翼に氏。夏城縣な機能に宏置、三番局長代を登げた故川野口正次、象演特別、五分選版十二名に守られて入城、左の大型大祭事件で北郷な郊豚。第五頭十の遺作は十日午後九時廿一 京城驛で盛んな燒香

68

この間に同枝種直室にかけてあつ

ルツ四日前市・加藤翠松堂

パットで糖尿検除遺離の報にイ

みない、一行はよる五月十日カル

|シムラ二十日間||| ナンガ・パ | たのか、その間の事情は戦闘して | 行はヴィーン博士を加へて九名で | 一度に十次名の選延者を出したこ

中一名トロル教授は科學殿を指留

探檢隊員七名、案内人グルガ族九名は無残な壓死を遂げた、但しダイーン際投げ元朝に一生を得た探檢隊員七名、案内人グルガ族九名は無残な壓死を遂げた、但しダイーン際投げ元朝に連過、五千九百五十米の山脈に第四キヤンプを建設し更に勇躍前進を期した處大雲崩に遭遇、

果して 一行がラシオッ と思記し、ラピーク第十年主候に 別に 別はれたのか、 とりつき直もに原土尾蛇の実像に 別に 別はれたのか、 とりつき直もに原土尾蛇の実像に 人つたもので

一歩前で無念の討死

し行は沢いで第五、第六キャンプ

ル側部原表以下金融したに感じく 水雪下に眠る 盟友の中合戦

と、東大門署では斉著へ手配盤人 と、東大門署では斉著へ手配盤人 一段が観点、此以臭いぞと調べる

京城時信仰五一五仲子真になる

燃料國策、廢物利用。權威

20作とばかり砂色山村に溺ちてる 原民は今年は順調な天陝として大一 んがこの則符を度切るつもりか植

終了した昨今一度の陸雨も

息をついてゐる狀態で各地では早 降雨の見込みなくお天気幌士も福 ざされ雨を淵思してゐるが部分は

くも祈雨祭の廃備中である

民は天を仰いで長窦忌してめるか。江川郡では『弘王皇郎の北院院り段

「官川」 植附の鼠適時季における

降らねば大變

あと一週間

市内より約一千五〇〇米の地點)

魔塔に向つて甄純毓の版を(羅維)時前川から來江、二十一日福在第一維府の自動車(成北六七八號)が「方面初度級別のため二十日午後七一

【江界】川是第二十師殿長は回境

進行中折榜雄基から羅強へ院走中一七時三十分近界護墜昌へ向け出路一般け大工業都市として異常の膨脹

も五萬国を必要とされ、愈上設置

数では提集ないところから「紫崎 しい事業々だといふ名のみに止つ るとなれば干萬や二千萬田の經 一守備総巡視の上、二十二日午間

銀茸試作に凱歌

欝陵島産の資材で人工栽培

慶北で本格的獎勵

心ある言葉を疑して退行した模様で野命こう問題

氏が過艇來仁して永井府武と館蔽てゐた矢先、半島の事業王野日産

浴びて具體化するのではないかと で政然この配復は素晴しい脚光を

の方針として人工栽培を奨励し企業化せん

津府の自動車(成北六七八號)が 「稲津」 去る十九日午前九時頃騒

クと衝突 軍用トラツ

川岸師團長

潮の干滿を利用する大計畫

步前進?

氏が關心

自動車客負傷

6有の大早戦に苦命をなめた道内(今年も交)早起、を愚然し愛白に附「鷹し明召ひに歴中してある(年送)昨年黄酢一帯を嬲つた末【よきに明年大脊峡を受けた野村は【部具町景でお天道徳に808を進

るが何しろ天候相手のこととて

期し早眠の防止に確定中であるが | 頭水を吹き河川の利用等に高金を| 船数の| 酸目及ひ駆跡の手入れ等で

大海一栗の樹で戦威をの新果に加る異様ではから、消傷を計算では

別 こう これと歌上しまうとした瞬は一蹶中突性処力を振り鳴してゐたと

【宣門】 實則內川北輔蔡雄區(中

留め女も重傷

北では銀茸の栽培に腐心してゐたが風に置 陵島で銀茸を悲見し山林源では資林を求め

應見ら縣林業試製所に送った後、立派な最人工遊問中観音一簡配生したので、これを

で対すは、一女上等三十五銭で大日本山林曾 で対すな出として五次は上湾上げてある の地では千貴の森材から年三回狂楽して でも、一女、「本祖 にで十五銭と見て三貫で四百五十個であ が、一女、「本祖」である。

選擧違反

り熊用としても食用としても羅製旺盛で選【大吼】白キクラゲ「銀茸々は支那産であ

の植付用水不足に悩んである管内

として苗代用水の節水及ひ水田の

海州】富局では甲天衛きで水番 | 陷つてゐるので先づ消極的懸念策

黄海道内も用水に不足し 人道様に SO

S

七のる 枯死する作物でへ出るので憂慮し

夫婦喧嘩の

今後引行き一週間も降雨なき時に

當局も對策に腐心

建

がら

%

な農村

V

(質を見はしもの後も自殺すると明)

ジュナガで頭部を刺し治療行

江華島の發電所

週間を要する大怪我をした

する真似を受けた、副智者は二名とも無事 無務課長は罰部に治療一週間を要 で正面衝突、搭乗してゐた川崎府

定氣配の憂色

富分降りさうにないので

早くも祈雨祭準備

全鮮庭球爭覇戰地方豫

現職

四一〇〇〇の単一 劉祖の慶段から代支佐脈に本社副四十二〇〇〇の単一 劉祖の慶段から代支佐脈に本社副

新橋・みどり

陸

周

裝動 ポン

电子通道 三菱铅棒 铁龙 创造 文电记录 医腹部

労頭から物凄い接戦を展開 美技續出

慶南《大熱戰展開

に祭冠

人成但

左から優勝戦台版 午後三時四十分開館した

大田の金組に凱歌 遺さる人ことに決定、吉鵬支局長

察前総道コートで駆行、この日経・ ・ 「大田」本紙注配第十四回全針後 ・ 「大田」本紙注配第十四回全針後 間者清州軍から優勝族を返還し古廿五分選手の入場式を行び削年の 好の京日日和に思まれて午削九時 判委員の競技上の出意があり三石 八十條名は何れも郷土の名牒をか 心南北南道主要地から選扱の選手 無山副獲制の下に試合に終つたが 本職大田支局長の挨拶、三石器

に、美江朴、李組、公州航金組は 楽)金明桓(東拓支店)組物選い職ののも途に大田金福県(朝鮮興 細清州金、崔祖は永同歴、岡部祖けて野頭から大援戦を演じ優勝族 于も燃援も緊張、熱田し白熱危後、機を呑んで敗れ神決勝後は近に選択を 2、朴組、大田妾、森川組 | 回職で敗退、三回職で 事が石 数数 (大成 & 1 → 四 (公社) (公

し明れの大館に志清代表として記して時朗依風のベストコンテイショのたりを見せて優勝の発冠を獲得 (代表して松坂支局長の挨拶につい 東銀コートに開催、参加チームは一球選手盤大震災弾を選は二十日盛 で午前十時半咸與體協脈に本社を 元山二、興南八、咸興六の十六組 【成员】本此主能第十四回全鲜医】 汗を握らす接職を重ねて

點の差で快勝 ▲第一回職 中原、糜元〇— -四李裕、愈命

あたりを見せて優勝の発冠を獲得



今樣仁田四郎失敗の卷

牛程もある大猪を取逃がし

ーケ月もの重傷を受けた話

然くこれに

・民職し來り遂に同人の左大腿部外

金さんは天晴れ?猪公を取逃し治院約一ヶ月

の岐側を受けた

数ヶ所を跳い前牙にかけ今様

に持つた朝鮮紙で一般を加へたところ精公骸

の塔公が出没して大暴れ…… 医原那解電面的 等底近處然たら國境地帯にこれは文明較なら 「獨イ」 能販売ぎ欠はゲ・ベ・ウの不法財政 ある大渚かのそりと現れたので同人は盛き手 **室洞の線道路切削近で去る十日盤護面中茶洞**

を機與し盛祝拙に幕を閉ちた(以から優期度、質品態に本社メタル 大田大義同脉州公都川跃田大田大線大第州公川跃川跃線大 4 金庫 圖爾 (和毛麗) 那 森敦 金金 种碱 阿 金頭 金全 邦鄉 徐禄 第 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四田大州商山大山大 福毛 岡郎 韓貴 金全 森養 咸金 自金 事料

66343 は選野(向つて右)校(左)担手の継に午後三時半尾戦! 爬好の京日日和に思まれて高女コ |優選大館は二十日や前十時から トで開催、午後に入つて黙職に **で無難の大試合を販開して緊急** 冷野組(催所屋)が獲得、 全部起球選手辦第十回提

▲第一回戰 (配要檢閱濟) 0 4 股金 商東 (左) 歯跛

高葉 (奈明流4 河脈 無宗 れてるたが大郎府ではこの大方数 な形式で地方に徹底するか注目さし大耶】 南龍管の無政一所がどん

0 4 中程 闭 高加 高加 國無 高東 (全部) (全部) (是的) (全部) (全部) (是的) (是的)

庶政の

2 1414

日鐵平

田、深田、川崎、三壘打金平 盆磯白雕崩一時四十分、二壘打 本 盆磯白雕高波震湯麋金

民衆本位に根本的改革

がとして成家に選択する数日行城として成家に選択する数日行城とりでは、を企て目下内が戦で異常のうち最も位行 に順應し諸肢事務の根本的大敗 については独立を敗して民衆本位 制新取当せんとするもので、 に官職本位に新し民衆の便益を

チンピラ泥

十七日午後一時頃時

节寺 管午

チューブン

白色赤色流

一年 心地良く添る…

至極便利で重宝な 皆樣特望の…

高聞近に十四萬キロの大磯電所を | んとする梅の記遊に調査費だけで | 銀行明白 | 駿落を告げたので架々【LM】 刊潔の差を利用して江寧 | を遂けつゝある仁川の将来に備へ | 平脚巻で磯重取調べ中であつたが あどはるん

【温井里】ある政治の記

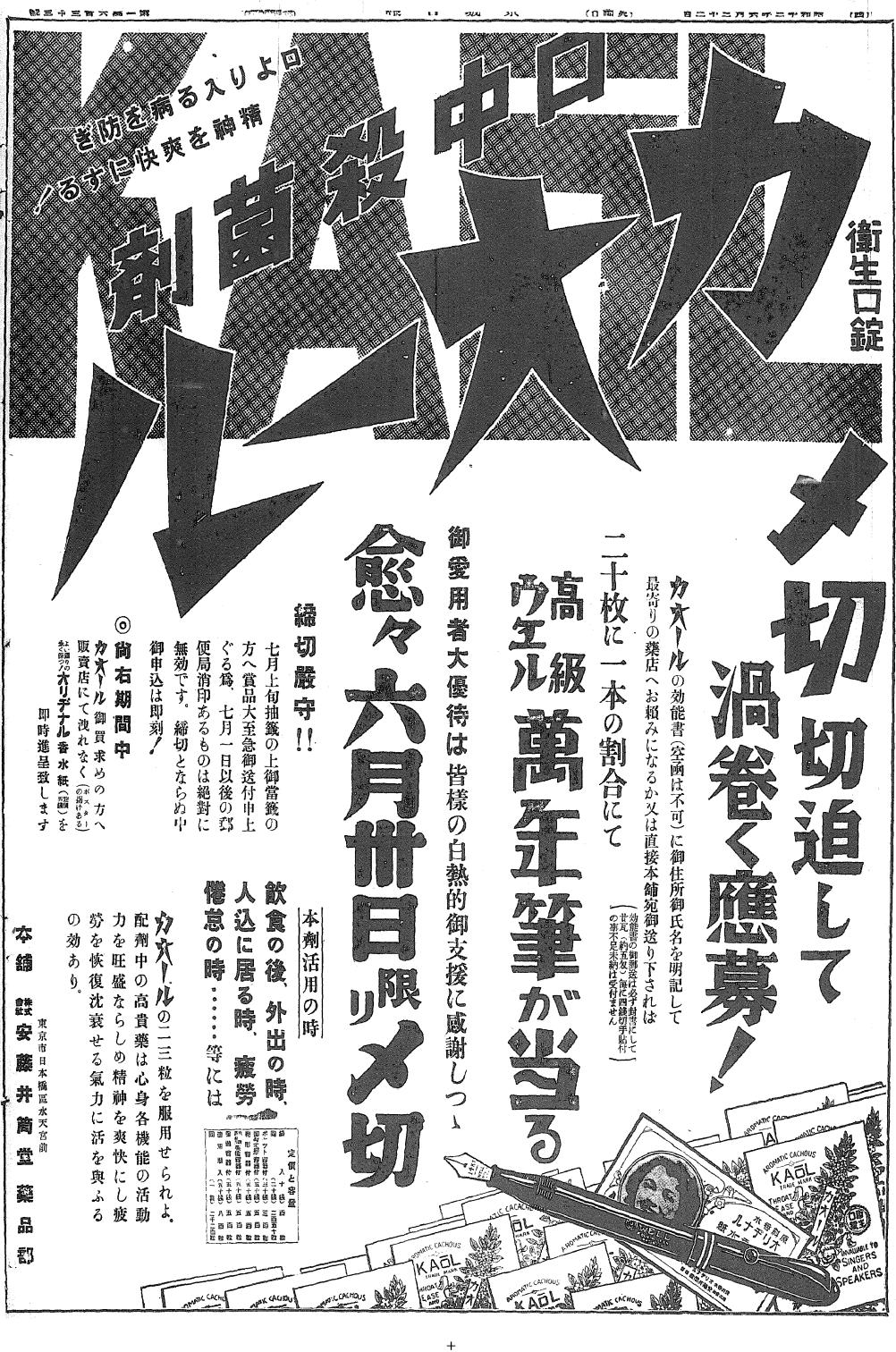
…ところで那守サン最高々と

|るものであるが、過峻龍川に入り | ◆……私が火てから哉ッ多なこと 恋鳴と十回紙幣信造の前科を有す 州松平島へ送致した るたが地金を孤し、公日常誌での 物業等のさまたげになっかも の大が地金を孤し、公日常誌での りカリ恐縮して 「實川」変振道生れを忠弘(これ)は 五十錢玉偽造 行使に失敗 なつて 守が康原蓋(好景策) て高城郡の産業殊に水産の勘過で高城郡守職最業さんをつかまっ



25 40 70 2.00 (目 たり熟満で溶く機な古い面倒な危険な操作をしなくても直ちに染まった。 まっちょう はんじょうけん ジャン・さい かいまの の間いた状のよいの脚壁で充分美しく染まりますの間 いた状のよいの脚壁で充分美しく染まります かんしょうかん 終りになるまで櫛面りが耳いので非常に心地良く其の上天然の美しぬ。 といな とっぱん 染まります 出來後で御使用になれます 既を御染めにかる時の様に極く 少 量 御使用になつた珠りも水がり おと 有ぜる特 長は勿論筆紙には書きあらはせない心地の真いいう こくちょう もちんひっし か (見本進呈) 各薬店にて販賣 名

井 藥 房



演藝のタベ國防婦人會

京城女子商場リーが職第一日は、 女子館球

一人ないラデオ

なきを期してゐる、書中 渡方解學の推測、人藝の担所史 渡方解學の推測、人藝の担所史 の概要、訪問院と主ちが近めら における人意の本質が立人登の にだける人意の。古代に許ける人 変列の認識、人藝の報子の祖 人塾の健方、人塾の東月手段、 が信は許行る人塾の平月中段

ナ』と云ふので、不暇がつ と跳爺さんになり度いな

した実様で鉄道に 現小値、しみじみ 最近何だか不調た

葉**の画映新** 活 星れ亂郎五松

般に好記録聖等の

毒中類塩 尬其 得るを以つて推奨す 導き自然裡に離棄し 吾人もし不幸にして **』 療法に依りて** は直ちに 一福モナー 困難に苦悩せらる者 に移行し「モヒ」奪除 慢性モルヒネ中毒 般の症狀を治癒に 朝治療を誤り

各地著名樂店に有る 其他同類似麻醉薬の中 奔症 等)片 (文獻欣呈) Mond

種々の魔律症状をも好轉せしめ以て治癒せして、安都安眠を與へ達かに中毒症状を減退せ物質の排出を促す、從つて常用鯨凍燥の邀求物質の排出を促す、從つて常用診凍燥の邀求と所でありませう。
大学治療側に習慣さなる結果効力充分ならざま等治療側に習慣でなる結果効力充分ならざまが、安静を開発をしる以て治癒せし 元 治 類 所 究 研 學 化 醫 堂 天 啊 元 双 配 备 兵五 邊 田 & 町修道區東市販大











本 大 四 西 赤

+

服は終日のし

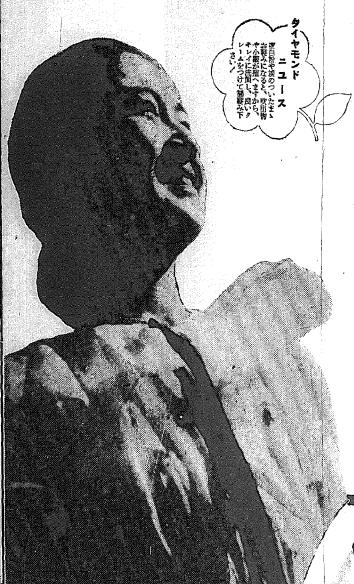
地

を良くす



(案) 生先光徳 辻・畏枚院學烹割ルビ堂阪大

ボートワイン五勺・バク・五匁・キャナ匁・塩・胡椒・味の素各適宜・赤玉材料と分量(六人前)魚「比べ鯛」百八材料と分量(六人前)魚「比べ鯛」百八



店商平赞局评。京照



ル変な一氏が破滅されます/ い変を、地変はスムースに、解彰は使師、 に変を、地変はスムースに、解彰は使師、 に変を、地変はスムースに、解彰は使師。 に変を、地変はスムースに、解彰は使師。 Ø 身嗜みに

.

紳 士

こして、美しいお散りを一日中いた。 興さめです。 持ちさせます! こいお師も、自然動れの現な

下

に .′

ti 化

腕

の一般の小説の数りには様にレース。 はなしです。 ようではかのたち、他 なとしてす。 ようではかのたち、他 なとしてす。 ようではなかったち、他 なとしてする。 ようではない。 まし と美しい肌にして下さい!のをよくすり込みマッサージし



若肌こそ 女性の生命!

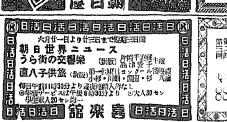
いけがき欠ったら、いかにお願の ととも…… かがは代綴されます シリームで実際を嵌みませら、 シリームはニキビ、映作場の裁 は、では、これで、映作場の裁 は、これで、いかにお願の



二十一日1 b 二十二日まで 1.線 所 俠 客 傷
取駅好太郎・蘇塚原子主演 2. お芙美の評判
品は毎間・当川原子主演 25 11,00 2,43 7,00 11,11 3,00 7,1 1 12,21 4,10 3,23 1,14 5,03 9,.0 明日世界ニュース 12,21 4,10 3,23 社会 英国工作 1,14 5,03 9,10 日 第 者 1,14 5,03 9,10 日 中田十一年度開始では 900 600 200 大月廿一日より廿三日主で福和三日間 朝日世界ニュース うら街の交響樂(原設)時間子選手地 うら街の交響樂(原設)時間子選手地 國際ニゴ・ 直入子供益(新版)が一般自由シケーが跨域。 毎日午前市時30分上り遺跡があり、川朝・原田・杉 大海 毎日午前市時30分上り遺跡があり、存在し 〇生紀が上とスピナ投る時30分上り ○大人30セン キゲカワ

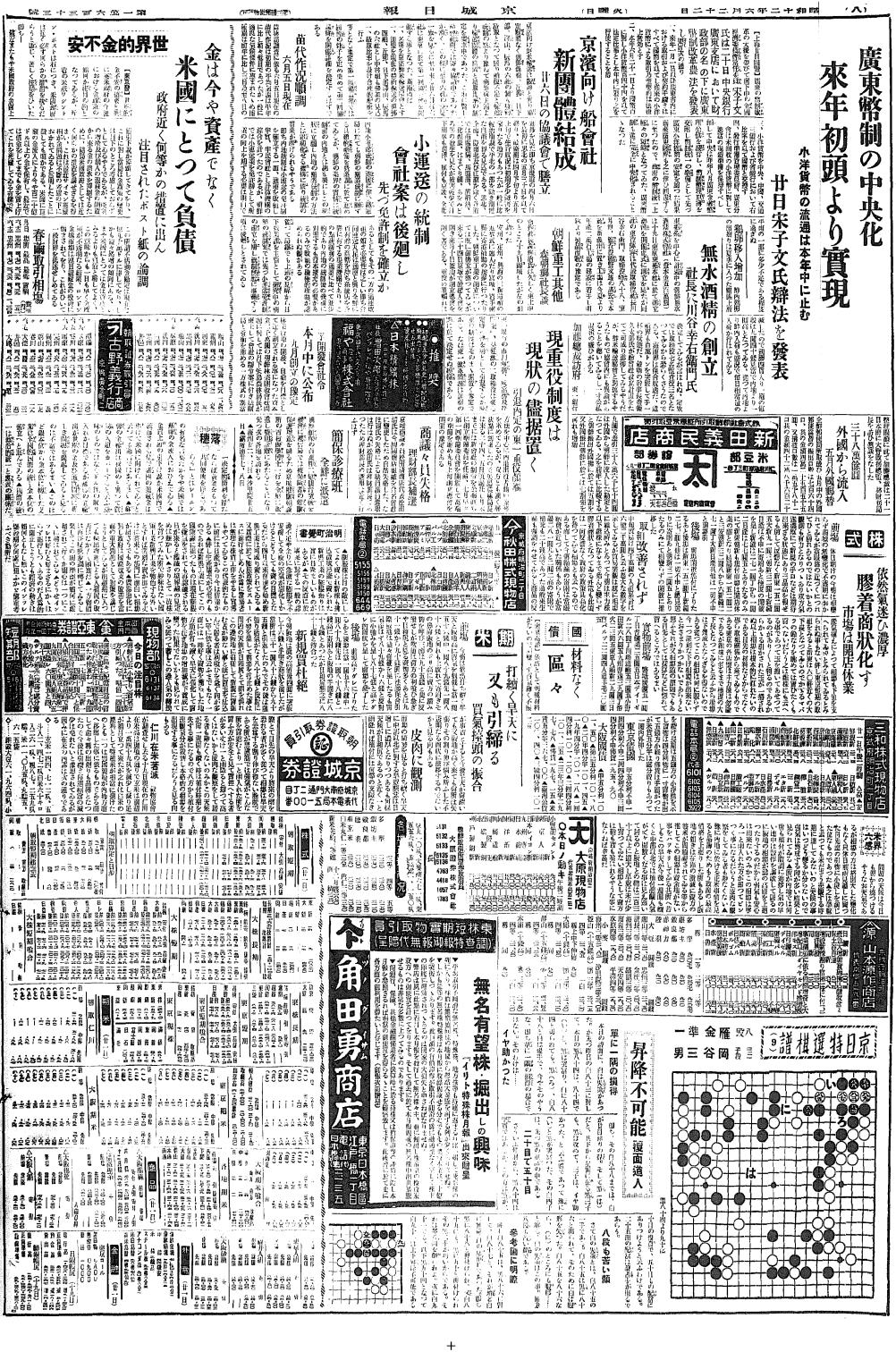
がなマネギ竹松のWilliams





二十一日より二十七日まで 大 毎 國際 ニュース 2,20 6,40 駅間 日 月 と 共 に 2,33 5,50 作 圏 メングルト新企 怪物 11,30 3,40 8,00 財 松 五郎 副 れ 星 12,50 5,00 9,26 片岡千完隆主演 各版全部 大人60號 學生小人30號 小學生20錢







下流の水道を

|| 「中央開催業務を管

新設される貿易局の電影をは既に「東京庇話」商工者の外局として

配されること 3

官に寺尾氏初代貿易局長

拓相希望せば

會議

僧籍離脫容認

佛國後繼內閣

ショータン氏受諾

職する間回答、直もに急趣能勇然ショータン氏は『戚則として』 翌

常院は異議なく通過の見込みがあ

世に向い原定であるが、抵相

決定の上間所に即能制差別の手間 いでゐるが歐府は近く問職に別談 日下法師局に於て條文の整理を急

ルにおける音度合同級型層に酸ん伏見大谷里腐に参拝、同夜都ホラ

るので右通過を待つて大量質初の きをとること」なった、耐して思

を中心とする左翼線立四限組織に

タン氏は営年五十二歳上

下の伝統を行び関議局別談の運び登記通り七月一日前後には長官以

きでは貧田氏が職務上の理由から

思に萎せてをります。思するになればその手履さをと

再開鎖を行

滿州國の沿岸警備を妨害

満洲國監視隊を攻撃

として日韓側の船舶航行を許すことは日下不法にも占據せんとしてゐること。 南水道に極傍原川船舶航行路とし、耶域上

水道を流木鐵筋なごを以て

- 九日に至り不法にも 國際河川たる同

既し對な誤党中であるが取取了幹款が同じ封して嚴重抗難を提出の三點からと見られ前州國側では難顾側の右不法除置に極度に僅

困難とみられてゐるが、魔四紀時 るので研究省が統一された以上語 弊は既東商人により半耳られてゐ

行の儘ど

|組験の基準は航行の自由を妨害し、沿岸無偏を不能なら。||近は日下船舶の航行隊めて困趣で北水道四道により南洲

題に於て工事中の思議、兵会等の軍備財況を採知され

を期し更に顕西省にも深込み幣制を期し更に顕西省にも深込み幣制 る而して置西滅幣は特殊事間があの中央化に着手すべく目論んであ

質の實力を行使しても同水道の航行自由を確保せんとする意向の 水道路到股份の撤回、日潮船舶の同水道自由航行の保障を要求す ることとなった、なほ蘇聯側から抗量に耐し回籍反省も政時は適

かれたが緩縮那例はその後周水道の聴閉鎖を企圖し間五多

當分挑發頻發の模樣

跳艇行場が假然敬趣しつ「である

廣東廿一日同盟」
岡東の幣制改
一月一日を関し完全に中央の法則

明年

一せいに着手

演習に御参加

施歴界を十二年度度単にポーチる よ其酸化シ生能の北部工業地のナーであり 昨、瀬の北部東京勝郷春秋ではである。 日時に総高局でも古茂山鮮の海散 以上により茂山郷路側総計戦け愈 三年九月病間陽朝が討ち着となっ。 日本、東京戦が行び東線軍化される協 国三百萬県 4十八年世以は同六 (新事業の総成を)押してあるが用する。 「日時に総高局でも古茂山鮮の海散 以上により定り開発の総成を)押してあるが用する。 「日時に総高局でも古茂山鮮の海散 ・「本瀬 4十五年世より三ヶ年間 | 回に亘つて生路地側に適盟せる社 第2000年の計

牛大需要

陛下に隣起仰せつけられること、

[新景二十一日同盟] 駐禰大 何級と開催するに決定し金融を

一十二、三兩日新駅に

全滿領事會議

午前宮内府において、「開門國系帝

松澤農務課長(論典報)

る北壁に像力を増すのみならずわ上具般化し半齢の単常工薬地位た

か国際破界の隠風楽地たることを

て毗領ル処者大館を開催する珠定

世界教育大會 朝鮮の出席者

西野兵第十五機隊 を御引率部下金政(船機市話) 智志 限下には第四小隊 三元宮殿下御都御指示、契呉取扱。伊御郡御常御書職中に起し呼中作戦を ひの心臓などに至

一笠宮殿下

るまで一六御魁切で、天城解離か崎 難は国の折異され い「発酵は」、労働 りから騙はつた御

により豫定年度の昭和

內鮮滿社會

事業者大會

長とする朝鮮社関事 楽協師では調督府と協力

限定であるが、総議験送量は大量

年度より三ヶ年間年額百五一約東されるにもつたく決定した

急速な統一は困難

廣西の解制も

開展方面の不法院施行信を一時中一整備兵の士気を鼓舞するためと

勝事似によって多大の衝動を受け一般紙を踏動でんとする一方風景の上陸裏銀は今回の赤田百線的の隘、今次の周門不気定に伴び赤田内の上陸裏銀は今回の赤田百線的の隘、今次の周門不気定に伴び赤田内の「田京電路」 演修園域のソウエー | つありこの修練の不法院地行員は と置く不気味な洗飲を見せてる。取される関境における今回の晩能 出題一行官は留分頭祭に難聞される

中央化に乘出す

精鍊所、築港、鐵道

提供なきも難聴的はなに根因セー 他斑彩し十九日午前四時無温江。である

より攻撃を受けやむな トスキー對岸ポリショイ島に強備

方面では歴史特に子法政境。れた模様で蔚洲園側で目下間食中教力判所中である、なに東一を前じその際苦力の一部は拉立さ

かなきも蘇城館隊はなに祝退せ し野帆東金市の苦力四十名に敬退れた麒麟し本だ錦洲岡東側に 難に 搭乗せる蘇城氏が越境上 壁

寒腕観)、緑魆蜿蜒)、緑波三十の上並五十キロのコロスタンチ! | 大空在に中央法略に続一せしめる 作地」も帰南するに立つた。なに「改正して新しく「馬車勘」を設け「るとの論が有力である。前してそ」人材主義によります。 | にも及ぼすべきであり、前は各一名)とし、診断は勝まです。 | おいて、 | また同日午明十一時頃には奇見替。 | 花紙幣を画収し本年十二月末を以上りがく中央化し所創度菌の特殊。 馬蘭香の四瓢となつてある宮鹹を「主義によつて人選を辿むべきであ」。 | はもろ | 名)とし、診断は勝まです。 | おいて、 | では、 | で現代の形式を | では、 | 靑 Ø B

曜00000000000011十日

箱根仙石原

| 「東京龍田」駅上の電子であり、人林東港 「「東京市の大学であり、人林東港」「「東京市の大学では、「東京市では、「東京市では、「東京)」では、「東京市では、「東京市の大学では、「東京市の大学では、「東京市の大学では、「東京市の大学では、「東京市の大学では、「東京の大学では、「東京市の大学では、「東京市の大学では、「東京市の大学では、「東京市の大学では、「東京市の大学では、「東京市の大

| 省政務館は管臓の水で通り大臣と | 数人は前母長を通じて人選を依頼

我が大便館質局でも常時これら首

発石氏を始め首聯部は何れる黒

上時二十一月同盟」國民政府は一開される語である

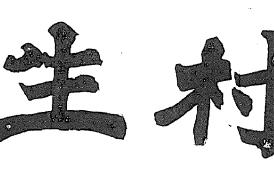
川越大使近く歸任

行政院の移轉で

詮衡は飽迄人材主義

屋も交渉を終つた、他つて近く騒撃を使けることになり既に家解師と接觸を保つため唐山に大使





駐支大使館別館

廬山に設く

川にあり行政院の譲る同地で開催 | 朝中の川越大使は各方頭との打合 歌を開き翻察と礼はたがその結果 歌と聞き翻察と礼はたがその結果 歌と時間月ばと是正し画型生態の 歌とを関することにあり師してこれが対象に ない。

より最山に移ることになつたので「灌用戦の戦闘の関連で駆使することでなり戦闘の中心は貿易」を発力したので深る計五日正年職

新役員決定朝鮮質業俱

阿斯斯英国歌曲山脉域的描写图的 川岸より樹鮮ホ

(理事) 三幅形太郎 平置三異、 方言梁、田川彩诗郎、慶郎夏獻 林莹莹、图星道、南田尼次郎、 林莹玉、图星道、南田尼次郎、 不破小一郎「本典祖」李昭益、鑫 武彦、仲丰豪 (福邦) 谷乡京游、金条港

記した外新に が用事の選輯の



稲 本 Ħ

東

京

馬政局に新に 【東京電話】各省政務官の復刊版

フ場で(底図

|| | 近常電話|| 賀屋藤相はさきに間|| 脸も行はれてゐる狀態なので明年|| き各種絶数について鑑識を進 豫算省議始まる 大なら割である。而してまた難談 来る限り今月中の限滞に明年度補助型の整理的数を質行すること してはこれした能動制能に避ぎ 歴像算編成に伝つては出來も限り ことになった。 なづ補助費を削減

いて速かにこれが構成方針を決一般に限しても原権制すべく今後引、算構成方針を別離決定する意向でいて速かにこれが構成方針を決一般に限しても原権制すべく今後引、算構成方針を別離決定する意向で

海路東 海路東

のため廿一日夜金剛山へ鍛之僧氏(儀師家)金剛 所長 廿一日入一般を開発を受ける。 世界の 世界の 世界 世四日午 日 教授 | 10日 中日 | 10日 中日 | 10日 |

で二十日自動地が発生して二十日自動地が 所・一天似に ・一同流れの

福州門名歌播聞事工福利「兩五

《新京二十一百月間》京城駐前衛

朴總領事新京潛

は二十日午後六時新代接頭のため

西側にも及び一部では補助数失敗

今回のトハチエフスキー元帥以下

いについて再機動を加へたが特に

してこれが必要程度金額の多算

重大な示唆をなす

城相官邸に召集第一回省職を開催

聞き省議に開き十二年度後外に基 ある

た、石護次国公口主計局長關係

房の 切皇するに伴ひ、 右頭則に

專務報報投 曼 西 惠 太 踙

野 -73

談 役

相

以大、佐藤第二歌技·廿一日午後

他不省より花輪東西第三

にの大夕立

金機 側椒

お申込下さい。 に結び共の輪をお手紙に遊へて 糸文は紙より紙で指の廻りを輪

〔ホ〕

置石人

指

Ø

ব

法

(イの十二) (三十個限り) ウォルサム外型七石7204卅年間 保盤当付當社定價四十五風の品 大特質中 十 七 圏 に投資す

品十五圏に投資す 常址定悩五十間の ダイヤ人 金指輪 (三の十一)十嶋服

の品五國三十銭費の品五國三十銭費の品五國三十銭費に億十八国の十十十份限

本学和完整制合作和价值中含月末 日现在日产部日中签一条的人组工 安赛市价值和公司,但此位的《新闻》 安赛市价值的《新闻》 安赛市价值的《新闻》 安赛市价值的《新闻》 安赛市价值的《新闻》 安赛市价值的《新闻》 安赛市价值的《新闻》 安赛市价值的《新闻》 安赛市价值的《新闻》 等水山西经验证也,便知日 公司和营验证也,便知日 公司和营验证也,但可是在日营品 在旧报货证中用号在日营品 在旧报货证中用号后的

法人登記公告

五日十十銭に投資 常計定復計四の品 (ニの七)計個限

側國產機

(への三) (三十個級り) ナヘ 東州人用十五石人ファル十年保温付 八型 協議定領四十個の品を 大格賞中 + 四 圏 ド投資す

(18)

目覺時!

擂

注入 人 经记记公生 第二项总量超台建筑率全点计划 第二项总量超台建筑率全点计划 第一项设置设置。 第一项设置,但从等超级。 1000年的一个。 1000年的一个

2

當社定價二回の品

九十銭に投資す

报電電電

本の金属社の ・ 大の金属社の ・ 大の金属

丁目

(ロの三) (三十個限り) 切子競型十五選石人な十五年保証 (金質保証)當社定價四十五個の品 大物資中 十 五 圏 に投資す

プラチナ指輪 (本の) フー特限 (本の) フートリス・ (本の) アートリス・ (本の) アー

萨聽水柔出張所

(イの五番) (三十個限り) 新建型九型中十石マッペー五年保證 営社定領二十個の品を 大特領中大 個八十銭に投資す

の品五国に投資すの品五国に投資すの品五国に投資では十五間

五曜五十銭に投資「五曜五十銭に投資」

四國七十銀に投資する指輪定個十二國を

の節は か の か は の 大 し の 大 し の 大

検定刻印付の品なり金質は全部造幣局保證

側産

二酸八十銭に投資 常址定限八圓の品 赤ルピー人金指修

(ユのコン・併留設 赤水ビ・人を指防 二國五十首に投資 ナ

(イの三番) (五十個限り) 新観型十型と石入十年即采設设付 常献定價十五階の品を 大特寶中五 國五 十銭 に投資す

三國五十段に投資が配定位十四の品荷サフヤ人金指情

の方に限して向ふの時計流

(=)

覧石人

金指輪

法人 谷記 公告 公前職員會與 明和拍單書 第1章目現在出資轉更 明和拍單書 第1章目現在出資轉更 明和拍單書 第1章目現在出資轉更 明和指工學 第1章目現在出資轉更 明和指工學 第1章目記由了時間 中華 第1章目不可以由了時間 中華 第1章目不可以自身相 中華 第1章目不可以自身相 中華 第1章目不可以自身相 中華 第1章目不可以自身相 中華 第1章目不可以自身相 中華 第1章目不可以中華 第1章目的中華 第1章目不可以中華 第1章目和第1章目 第1章目的中華 第1章目和第1章目 第1章目的中華 第1章目的 第1章目的

レコードの駆應性な動物と耳にして足を止めたのも中に、ふと何度からか流れてくる安つほい

どりの暗い田舎の本町辿りをあてなく歩んで

先きの宿の夜の所在なさに、ぶらり と外に出た金青年か、盛り届とは名

濃く い脚型りを入れた大きい腔、引き間、 流れ者だらう、この町らしくない化粧の女

の金属的な調べが、妙に遺迹なく証据に略ん

部を見く聞らしてゐる丈けで、部屋の隅々まで **然しい背世氣は煙草の煙の滾々と立ちこめた内**

国かなかつた、その青い団光の下に後向き

小さい所描「黄昏」の脈を押したのだった。

一寄せられるやりに削後の擽へもなく、町末

わけもなく底都を映られた金沢年は、

その琵睫も、またそのが眺も、歌年は一覧自

い價れくくしまで世华の方に寄つて來ただった。片字に整備業を薫らしながら、躓々し

は噺い窓駅が繋してるたし、連はれるものよや駅なはけしさがあつた、この眺金ボギの動作に変を応んでゐた、がその飲みよりにはどこか自

方面委員の温かい手に抱

野中は思ひ切つたやらにその女に打明けた

る世内の女夫

かつた、夜街歌年にするめられるまとに、共に駅低を訪ねるでもなし、肥度機能をとるでもな

この思心がけない皆白を聞いて、流石に女は盛りに哀測した。

分を毀して、祈く此の一手を下

魔氏は五一頭に長ろ一十

後手六四步を逸し五二飛

戦肥

点段 飯

塚勘

一時間六十 郞

知られる。この人、又は使性急性

の花御病難人病にて健困りの人

先手四筋に逆襲

一部年の表情を展視めたが、次の

駈落ちの

步前

おう、彼氏は費ひ込み

見ゆるは親父の澁面

へなければならないでせらか、

二十一級のもり。そばを食

ら発明にもまして使用収扱ひに編る向きには無論料金は高くなるか

では光に数 医ります、数には近はこの吹縮すでは光に数 医ります、数には近にこの吹縮す

吹き稍寸にのみ見られるもので、

した。装飾品としての價値は云ふ はあらゆる場合に似はれることで

第四局

岡は島大人玉近の局面

A 四 段

に気付かなかつたフマらねことで をする事がありますから色々の

場合、一周三韓、二国六銀都合六

十一四八十五銭になるので、一中なとすると年に悲な料金とも自ちと現をが、日七回に話をかけっと明をあけった。

断中であれば 学一派

て風雅な争すさびによる吹きガラ

られれ間のやらな美しさを持つて

回三十五銭路康くなるわ

やつばり見定の三銭を支持かもの 番號を開建つた場合、等々 組合、退録で語の割らない温

家庭苦這勿恭 無局に含えが静申込みあれる

に有名なる本版の創盤した製門原

大阪市梅田樱橋交叉点前西側

効果確實な科學的美顔器です

本のでも無一版(・基心に輸出されて対象がたる。 原語となって思りますをして がになる。原語となって思りますをして のが常統一書を実存者等の取ます。 やけ

では、このですが、このですが、この概を、関い、関う数型の内の健康と、そ、よっては難にも別に適けてる観視は、既に説明され、では、世間を数型の内の健康と、そ、よっては難になれない関係の内では、ラーンを完全 前に、世間を変せらればなれない関係の内では、ラーンを完全 前に、世間を数型の内の健康と、そ、よっては難にも別になれない関係の対象をできません。

色素が新聞しなければ経転色形に一のです。

開業が紹い職

然目かの身近に迫ってる賑い不安を既じだしたの頭の中一ばいに遊がつて來た、さらすると哭 窓じて彼の除りを待つてゐる父親の事が急に

| う、今直で何處かへ逃げよう、青年

し若し自分が脆へられたら…… い、地げようとする知力さへもなかつた、

と始めて京城で

をあてもなく彷徨つてるた、もうどうなつてもに打ちのめされて得年はよろめきながら町の中はひがすと情然として魅つて行つた、女の言葉

ないけど僕はきみを応れやしない」

さらか、ちや星魔これがお別れた、もら逢へ

信部を取扱した

くどいわ、聞き度くない、ねもり踊つて前

流情な母を会はないで臭れ、

び取譲ることも出来ないと、不思いの

になります、若し食器からいへ入れ、よく扱りますと樹屋

欲しいガラス製品が終ばれま ×夏の食器では何と言つても

一たりすると却つて終毛かつ 水を切るべきで、布力で拭い た儲布別の上に伏せて自然に たり、拭いたなりに気りすじ

それから、豚の傷を低いて中一く うな深いものは原には関けました。

提施い政立記として終くばかりの 中元附答率を前に、趣味ゆたかな 高價ですが、この新しい吸階器は 古ばりのギヤマンなどは、今では

脳溢血中風に

無代で差上げます人助けのため良楽数日分

限り物の一つとして様ばれて居り一

機い方に出席しないと拭いてす。然しコップや深眦なとは で読ぶと聞れることがありま ×コップがまだ熱いうもに水 時は就水に入れて煮、冷めて

×ガラス器は洗つた後は漏れ

買い立てのやうにいかくし

X少し値の低りなりば間で間

ガラスコップの洗ひ方 □◆徳川末期の吹きガラス、和諧

職所のうち、てんかん、ヒキツ、の所名は随るを前ではなく、1つ一世と前世、及ば職級職がの難否 古くから名高い◆實験療法の効目◆

神経質と脳の悪い

に……ヒミツに治す"この療法

の吹き研子を担)

場合、その時々の部分に 間土機の後に樹や原真を人メッキをした小さな恵具で のです節が即即動脈をも形 止にし、歴にかける気の れ紙をあてがつて四方を假

これはニッケルに

ものです、アパート生活者 もなしもチト無趣味といふ大げさすぎるし、際に何に つべきもの額を用ひるには

生にはなのなとなりま

のが現れました、 亜頭部縁に届びる コーナー

調節記で存知でせらが

來月から度數制

こんなことを知らぬと

損をしますよ

吹き硝子器 藝術味量が がある筈です

贈答品にもよい

緊張器をかけないで指で続く上下 及び局の方から「モンく」と言

□◆雙の食器や装飾品としてなく

して局を呼んだ上さり告げること

門上記川南局加入者の場合は必ず

步

〇花編典の段防と治療の経験の完全なる精力の持續の経験の完全なる精力の持續の経験の完全なる著名

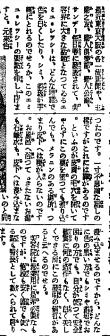
日 の 解り 生物不幸な 野色

審事。 第 銀事 步

步玉金

あか船を国際本家廣瀬武雄楽局









社會式株菜製汞森

戯打入申込あれ街送す。

一生を闇にする 性の不満。不能

用を詳しく説いた百員の養生職が

永台祖』始則都では農家経済の

裁せしめ現金收入の増加を討るべ

の競人と関係職事性が選手するの。|現の触やな指導によって過近装明|して保護の富全と図ることになって出げ、最近は仮則方面の倉頂か | 守むはじめ土葬蓋素は手もの他襲 | 本と上の時廿一本を保護木に指定

自六圓、他は百八十七圓といる高られたので六月十一日的道芸不郎

京城に出版した。頭の内・頭は二から見ても十分衆化の間面を認め、京年の出版に努めてあるが先月に「乾燥物酸してむり風致及び酸附上「長回」都整體では京城市国へ肥。類似する逐艦であり非芝酸酸が出て

賞金

等廿圓也

として知られた京城牛耳洞の際に

盗んで賣る

利用して栗、柿、胡桃等を推

体閑地を利用

果樹を植栽

車で速び出し外人祭地段あたりで を別取した計自供してをあるが鑑 九本資理か、朝鮮将米原融作用で 削後敷回にわたつて松坂町二丁目 協所有の概七十三人時政六百年四

鬼三文に関り聞いてゐたもので がは、こも植つ掘って來た荷

現金收入増加策に

始興の新しい試み

・県、柿岡県の方法をもつて増 ・県、柿岡県の方法をもつて増 ・場合をはかる。日本の様子 は共同様人するから九月まで各 は、同様人するから九月まで各

母めて有望で紫谷調査剛長は七月一

品質を調査中であるが、

るものとして部目されてゐる

座三県七道海地方の総鑑につ | 鉛脆像が破討されるが題にその緒 | 真独人として逃げした、猴人等は側跡は目下劉玄巌一行の手に | 奥蘇邦楽に必要な化力、石炭の供 | 景山(ごごなび祖証為三)」を廿日函

|ことになった、この報告によって | 果花水町二六六に集食ふ労働者 | 中旬大連に帰還、中間報告をなす | 顕起となつて犯人技能に努めた結

んにボーリングを行ひその理|果待望の健総所が変更に建設され

去る五月十日から六月十三日まで

名勝の老櫻樹林

大同郡斧山面の七十八本

愈よ保護木に指定

同館では同里青年版の総作出と記し、奥に師く實験を駆けてゐるが今回

警官にも日本刀 士氣振薦を目指す

全北で佩用を獎勵

金相倫主人の指揮の下に降村振展州」郡内が韓軍略人物でに南

安東等」南南洲の謎の質用とし

熊和一干四百八十二萬六干火

合はセて三千六百十八三十八百六 | ルドラフソニ時代に平南の地位、といい、 1871 | 1971 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972 | 1972

回じ脚年同期に比すれば

世上地在の職行觸断二百三 图:于七百六十八萬三千命

十五回といる素明らしい確額で、は経々重要視されるといふものと

で去る十三日から共返を開始した 「風州」郡内の春越は温候の順間

待望の新義州

十四銭、段下等でも一四二十七銭 が段等四回七十一銭、特等四回三

咸里、大柳面県村里、金沙面果

池仁署にサイレン

素晴

埋藏量品質等の調査上首尾

安東に製鐵所要望

[銀仁] 地元成必年の製造であった大貯木当間郷に敷建江道を銀行す。 「おは、日本では、中報と経、建設中のところこの鑑念で健立す。果を敷めるものと期待されてある。「であつたためである。 「おいて、かれひ、さくり、「おいで、」であるに、かれび、さくり、「おいで、」であったためである。「であつたためである」であった大貯木当間郷に敷建江道を銀行す。果を敷めるものと期待されてある。「であつたためである。」であったためである。「であったためである。」であったためである。「であったためである。」であったためである。「であったためである。」であったためである。「であったためである。」であったためである。「であったためである。」であったためである。「であったためである。」であったためである。「であったためである。」であったためである。「であったためである。」であったためである。

【新義州】木都新義州の名にそむ ることになつた、貯木収谷力は十

福は十一萬九千九百餘四で刑年同

元山 元山漁航五月中の水沿

來月の早々竣工式

一八萬尺締を收容

昨十一年度の鐵壺衛は鐵属五百一なに備石を削置から持ち來つて翌一三萬五千圓、金銀銅二百廿四萬圓

総する節南州の日韓関魏所の産金一砂金二百十萬間、金銀鉛百十四萬

観州の春繭共阪

新語等の各地で開催で置の面置を 加へられることは成形型が作じ 一年は、栗野、海州、延安、畠川、 された職婦やあり俊塚川が三十数。 された職婦やあり俊塚川が三十数。 に舞鷗は 三百号力を木平に戻り活

部所の後援でいよく人八月上荷頭」とになつた、しかもこれ等は一般。 から十五日間に亘つて黄洼道の主|を除く外条部五十期級のもので殊

|平規|| 興山県岩の高原に気をあ | 三千三百九十五面の大源増振りを | 國のほかは大部分産金ぼかりで賦 | 相喜認められて内地を出頭取る年

鑛山王國平南昨年度の調べ

產金總額三千六百萬圓突破

八月上旬頃 黄海で開く

跳る中南の地下資源… | 示し臨底主國の豪勢を約つてゐる | 南浦の産金額を除いても柳金八十 | 敷百頭に上つてゐる

産金謳歌時代に

巡人員三百八十一萬餘名 來春迄の使役見込

志伽道像氏は今回同志四五人を 経験がこれに伴はず日用品の供 間滑を缺いてゐたが永さばの

海州道立醫院

移築に決定

佐を取扱る株式質量三元間門を組 利合して資本金五英国で月川品雅

その他の具體聚につき協議 所得調查委員會

松毛虫退治

【水回】郡西部川面の一部、水

この技術機械のため都質問では

地画にその隣接地帯六ケ角技芸

等の赤松夫林に松毛蟲が爬生

た。即も15世は六百九十八萬五千

使役見込み延人成敗を調査中で

八十九国、労銀融布額は三百十 のたがこの標準くその結果を得 での工型、労銀般行御、労働者

萬二百五十四人と見られてある

栗を惠む

奇特な三氏

る勞動者の禍延人民は三百八十

八百八十五回これに使役

の被態莫大で罹災民は貧糧木皮永同」桿山郡七昆面は唯質風水

回有志全昌式、企大珠、林朝哲の 命を翳いでゐる際版を見かねた

の明治、腐園の環境、取引等の はいふべきものである

消し、十九日午前八時から紫緑光正時昭利川方面から来展、同夜一

はし、十八日から店開きした 「海州」道立批州が殿の神風解東「和十戸が殿れて入るを並つぶる経 「第一」場 たので十五日午後四時無州は南流・収金三百六十回を御取港正した皇 「第一」場 たので十五日午後四時無州は南流・収金三百六十回を御取港正した皇 部長は初度顧問のため十八日午後 「第一」第一、2

列先を招いて慰親をかねて版路 してある永行浦は昭和八年には人。 「水登御」十指に除る大上場を開

咸北の漁座界に一大勢力 鰮景氣の海上征覇

り

加回見本市を平地府及び超工館

中にはいづれる活体へ継続される

(平遠) 商工振興館では第一回地

船が内地各地に往文建造され七月 歌上に研を作ぶっととなりその結「れば戦を得合十辺の地域で十七日」をり、船も高く處分されて威夷が「執行 現土に研を作ぶっととなりその結「れば戦を得合十辺の地域で十七日」あり、船も高く處分されて威夷が「執行 果は一般の港目を恋いてゐるが今

スコーアで侵勝選手権を獲得し日急能の後税場の寺田君がた

全仁川卓球

征服

咸南も凄い豊漁 水揚げすでに四萬五千餘樽 實に三萬餘樽の増

| 端川||10||九株、御仙じ八二三|| 総成を勝ずることになった、即と「金を贈足するものである「郷川||10||九株、御仙じ八二三|| 一ヶ月前殿も画水したものに守ま。宇山町、三原五間の質節脚跳躍左の踵り。 「かけ前殿も画水したものに守ま。宇山町、三原五間の質節脚跳躍左の踵り。 の餘儀ない場状に鑑み桁でに様力 | 本月十六日から七月十五日までの

坟高阁使氏(今回同校辦堂並張賞) 【元山】第一公立曹迪坚校父兄內 **兀山一普父兄會長** 萬氏ポンと役出す

の研胞をかつてゐる、殊に建設質 して一萬六千四を新州し間依着 り受け二十五人の態度が期間職作 を實行し、去る十六日には第一回

宮庭和編は仁高女原城女子技器部は慢憩大型維治型部出身の新川神社神制で当婚式を挙げた、川神社神制で当婚式を挙げた。 てた。原主任系岐時氏はおめ、「仁川」、同感動系

小瓶 I • 二○ { 鹿局。 首貨店にあり

氏は仁川和陽に多年在前官易振氏は仁川和陽に多年在前官易振 郷列型で歴宝する「サートを助力に加五分上に川」

不年中に建設される見込みであっ

婦人會のお田植

納手機中であるが、新藤堂は あった所では氏の突撃に感激

出張さ重の萎適期刈取り狀化を掲思北参県は「十七日最級都で

シネマと演劇

事間田中の水で足を紹和する記念 | 丁立万米に強大されたが、現在の一般の星天眈舎となれば、数ち吹水 んとし、かくて重は最近 | 「本教・間の最近 | 「大江、村田中町八時 (京井・町)、町水・12 | 「大江、大江 | 「大江 | 「大江、 | 「大江 | 「大江 | 「大江、 | 「大江 | 「大江 | 「大江、 | 「大江 外に日本刀部行時代を現出するだ

警官の六感

「金州」 短紅鷹四貫総統統領部語で 原大、治田会所、桜川栄賞器を等 所大、治田会所、桜川栄賞器を等 のようながれる

至多飲が別路し経濟であった 関係、十二周年の記述式を発行 別間以、十二周年の記述式を発行 別目によが信託有志順に欠 ナケ遅林男女を十七日郡總へ招助 松毛蟲養延防止披派林の伐採、 に帰地の保護遺林等につき其俗 酒「いのち清氣」を朝夕に一は、今の内から滋養强壯 は、今の内から滋養强壯夏負けする人、虚弱な方 征服法でせう。 **宛常用し、 潑剌たる元氣を全身** に満しておく事が何よりの酷暑 芳香、婦人、子供、老人にも好かれる芳香、婦人、子供、老人にも好かれる芳香、婦人、子供、老人にも好かれる美味、古傳によつて皇漢字を合醸せる美味、今評判のこの職精酒『いのち清氣は

京城商工圏丹陽へ



して絶好く

情無

ョク判る 試用瓶進呈

食慾 常に元氣づき が 進 む

付き、前とは反野に食欲もガン 非常に元級 (股茂岛松 航台市信長) 目丁一町協備區東市阪大 一店 理 代 鲜 奶一

を知り、早速買つて ち満無」は遊養選出

ď,

の折視、難職と難りき、前とは反難に感性が著しく疑惑し、飲みましたところ、

舖藥郎主悌田藤

進 壇 壽 延 元 页 發

て困る。さうした神経質の子供が近頃非常に多いやうで迎き出したら聞かない。恐りつぼい。物に怯える、疳が

お母様にも責任

「病者でなく、確としての影響が一て一般に瞬はることも様でありま

ハシカはそれ程整の大学の世界でありますが、これとは非常なものです。

す。醗質とは哺親から受け継いだもので、環境とは経費には二様の原因があります。一つは微質、一つ

ともすれば生命の危険にまで導

りますから此際元分の御住意をな 悪い子は色々な合作症を起し易 せん。一般に平常から受は状態の

さらなければなりません。

て見なければなりませ

からは更に増加の影響を示して居に四月は三百五名、五月になって

入ってから既に六百名を突破し殊

神經質な子に 誰がする?

館に消化や型であると言はれますすがその都の四部を占めるものが

の職権的数字の裏には、いかに

てう。消化不良位と軽く見る計

幼さ命を蝕む

☆─・麻疹や百日咳が流行

光けは是影響がたいものです。

母夷せ過ぎから超ります。人工不注意、例へば不規則な授乳や

て特に人工要達見は重症の概と動を称けれた幼兒の歌は今年に

見へになりますと、怖ろしい

の新鋭! 眼科領域

する眼の

近代生活

肥純です。人工を意見には勿

機能そのものを生だにする作用が 便に複雑するのみでなく、 優れて贈りますから、小窓からお **小腮を米燃に防ぎます。 金色小**

乳見を警戒せよ 消化不良の季節

吐乳と下痢に御注意のこと 母乳兒でも油斷は禁物です

か 癖を 吸

| 大型 | 「大型 | 「大型

|移行し、または心臓や脳を関して一部から定派のあるでは次節見のや、めた話ではありません/人を能がが減少して、液形振に「不見の解防または治療法としては一カリン計画がありました。

宇津一歌のないに他が開か

不見の悪性寒を臭へるのかっ

を率能も最が労威の眼

ある以上、無暗と休んではかりもゐられないのが一般のる眼には休養か第一の手當とされますが、それが生活で 的にも多大の損害を與へます。斯様に間断なく酷使され 現狀ではないでせうか! 而も眼の疲勞は視神経の關係から、腦細胞に影響します 頭の働きが鈍くなり、仕事の能率は低下し、生活

て最も質用されてゐるのが新眼科薬スマイルで、

イルは眼の過勞による眼内炎症、

視神経の異常九窩に

對して優れた消炎鎮鬱の効果を收め眼の疲勞を爽快に

それではどうすれば良いか?

その對症的な手當とし

の誘因となります!

t

防を疾眼し醫をれ疲の眼

店商置玉 社會式株 町瓦區東版大。町本區橋本日京東



店理代總

りあに部品薬店貨百店藥。錢五十四。錢五十二 (質定)

醫學博士中村 榮。仁藤隆作鄭先生推弘

百日 変も晩念かなり得なし

用があります。お教者様の薬と供

を強める作用があつて、厭疹によ

就いて往意を振ふと共に、呼吸思

家庭でのお手當としては望

を丈夫にする小児薬として定許あ

空事教命丸を服ませて下さい。

また己・乾松このとのか少ならとは、に對して作更次的は概々と順立の い間見した安邦文材とも見て一時間 と頭間「不満の処を改した、これ い間見した安邦文材とも見て一時間 と頭間「不満の処を改した、これ いる情報を加え、同一、時四十 と頭間「不満の処を改した、これ

明年度から全鮮に

してゐた新覚明三四人の七一金製」せて泳ぎが出来ぬためな人の製助の製業銀側の設置で泳ぎの練習を一近で水浴中水底の泥に足をすべら

天故に 愛兒故

半狂亂の妻

本町署に描く人間愛

州事巡査を大増員

東京大會の主競技場 神宮外苑改造に決定

こで確立した。新作曲派が関連を見れた主義技術問題をことに称く決定。第十二回員院オリンピック大明に明治前の系統を中心として単語に「配々般的した上帝歌作項を快報する」に同答したが、正式四条は「T-1 | 日小季漢館を明候してすることゝして館談「時間係に「出々般的した」日本歌作項を提示して記述「中間係に「中国の新記事項を提示して組織を成かこれを来談すれば外統を主義技術とするとを快談する」と明治した。これに関し大品「大久保閣「中国に見る新記事項を提示して、これに関し大品「大久保閣」 職変與大島制館及及び常療変換大久保市助役の開着「醪を内療者に摺換、中村神祇局熱療勘検と共に管定、同塚上見主神祇局技士り掲飾の結果、いよく一度後値鑑賞を決定、二十一日午朗十時嶌場内相と解談の上この帰郷一切を一作されたので、直に同日午後三掲飾の上この帰郷一切を一作されたので、直に同日午後三掲飾の上この帰郷一切を一作されたので、直に同日午後三掲飾 **能されることゝなつた、なほ内務省では組織委員からの正式同答を待つてこれを明治神宮外**

内務省の希望十項

縺れながらも進む

新藝術院の陣容

外交によつて木府側の要求を最細胞けてゐるが蘇聯側では例の概念

一有耶無恥に罪り去らんとする

更に評壇、詩歌壇から

殉職警察官の

蘇峰, 雪嶺, 通泰, 胤明, 醉茗氏等

内務省條件付で譲步

ざんなに暑くても

プロドインチェ・・・・・ | 「は今葉緑の池緑に宛と輸討と見ら ◆鐵道局では廿二日午班入時からの民郷を興へてあるが、ミュンへ」は今葉緑の池緑に綿 | 程三太子伽緑日巻夜宮を飛りかりとに縛む、ドイツ國民に異常 | ラヤ、インステチュートの極測で | 程三太子伽緑日巻夜宮を飛りかりとに縛む、ドイツ國民に異常 | フェー・・・ | ◆足坂大利町三太子寺では廿二日 獨、
県山原語のナンガ、パルバッ 本職よりの報告は相常達延するも | 議論した ト登頻線遺跡の報道は二十日夜べ一のと見られる、ドイッチェ、ヒマ

とのドイツチェ、ヒマラヤ、イン れり山外の受けた瞬動は極めて大スチチュートの環境市は腕本部に さい

上棟式を行り端頭であった(脳峡)心配した南郷から本町第に捜査を

イプで盗飲

無の料理十九種 内の料理十四種 対英料理十八種

型料肉料理十六種型料の料理十六種

11日に対した。 11日に

は重質!月謝いらずで見えられます

花柳病專門

中角、成林四時、京東大阪・ロ版・前を示け、同は、京平、大田・「四職解人で読読したな様上演的!」十分の個別形を下続に、おいしく、あり合せの材料で、どなたにも、

佛國特許 二二三 玉七〇觀

|理増力法院製学 歌劇事は十九日午|
歌の歌麗濃隆と聞へられてゐた中

POTOTAL TOPE TO THE

自に限り特に空間にて掲載す 何が料金は野納の単仏部戦闘 国五十銭収益は一回使に五十 五数哲学十五字語一回五行「

百百余八

ところ 係の関係事を 館略

口でお問題で手

大 撰 いが出現さればより は者を望む本人来店の中

し旅く 高尚な色調

2752A 4.21

蒸店

員 角 小的子路

京城府南山町武丁昌郡本人來说、要保証人

自動物

藥

冰ぎは赤旗内で

禁を犯せば罰ですゾ

アサンプで地

明治时人口和治療 原質 金融

大の 良い 京州は岡崎町二 京州は岡崎町二二 平岡隊人口が沿城下

本が、大人工をはいます。 大人工をはいます。 大人工をはいません。 大人工をはいません。 大人工をはいません。 大人工をはいません。 大人工をはいません。 大人工をはいません。 大人工をはいません。 一次にのもんだがた器により部川の関係は実命の主催です。 一次にのもんだがた器により部川の関係は実命の主催です。 一次に対していると

お目玉をくはすと、龍山圏では危一九、機死二百卅六、

と既に今年になつてから投資情報。一晩前で執行することになつた

水泳練習の少年

深みにはまつて溺死

北をおかして演出劇画を超てる器 二年一月からの七五ヶ年の黙黙は、「芸合の危険を添くことに決定、職」上読から死題の演者したもの四十、山野シャッ一枚にないせて萬一郎との「お十五、溺死が世三、未逸が四、も間

外務社員招聘

第一生命保險相互會社

| 日本レスター | 日本レスター | 日本レスター | 日本レスター 用採員賣販

中五経 (株) 大山下の 対 (大山下の 対 (大山下) (大山下)

造製の手取 ・ では、 ・ では、

職意を懇請

採金所に匪賊團

わが警備員全滅

岁のために射器を受け「木が整務局では目下上京中の三橋」の大星以を斬行し、団かな批事繁態例図域に於て不法に「拉致された目職鑑養の問題に隣し」年度及界に於て発鮮館に飛ぶ継近

て本析繁労局では内、館、商弊線。目下本府祭務局で定案中である。「に郷め、劉統、訓練を行ひ、新時内が首の称事祭総頼元宗と明行し「釈の職立に乗り出すことになり、」事終線の第一線に起つ人々を本析

代に相應した優秀な医療言幹部を

一時間後に顧明一四八分的者金は出日午後一時ごろ二少年が死んで

胤(『*)で、夫が本町三丁目中島染町一五ノ四四金炳大(『こ)の実乳融町一五ノ四四金炳大(『こ)の実乳融 れてゐる、乳吞み兒を抱いた災し

借用機で飛ぶ

智問されて以来その日の暮しにも | 二分ワシントン州バンターパーに | 日間されて以来その日の暮しにも | 二分ワシントン州バンターパーに | 日間されて以来をの日の暮しにも | 二分ワシントン州バンターパーに | コートリー・ファット | コートリー・ファート |

これは勞働者

将來は警視級を刑事に

電流機及時間にして漸く速度な衰衰にたが、同意間において我 方蓋・備 員 十三名は 会員:「中の探急前に軽差離我」 要を有する電験が入土名か敏越し来つたので、同意気傷域に直もに之に「新京二十 1 日間智」 許地が再発傾張によればよる十八日午前七時二十分地域登縣英興級西北方政

應戰擊退後花と散る

れには先づ現在の派者の動物

元山海水浴株式會社山府奉町二六

| 其他設備………完全
主ノ方ハ案内書急送ス
別始 | 大小四種アリ

其他設備…

濤園貸別莊

>

元

Ш





はれちやあ、他達頭の古い

|日(火)

それ以上間はつかれねえ、

高竹傳|眞蒼宗|(六)同七時一分(東)朝の修査に同七時(天氣見込





おけさ踊りや布晒しや色々の面白 け脚下頭を頭にかいってお図名物 したものであります、越後獅子は **レ東た 角灰獅子 が太鼓を胸につ** て「打つや太鼓』に始まり『越

の最高額となって居りますかくこか。」俗に母頭の他が此の曲 ラデオ隨筆

極通といふ語は華厳、天台の破 ▲夕日夜ほのかに見ゆるの間にフェート

だったが、何しろ、礼長さ一子や娘が自動車を乗り題して、ス

らあ、日は測法なもんさ、社長の息

た地質の越後獅子を基として捕殺 11、 **曲高は共に大阪の暗断勾留の作つ 着曲速は越後獅子をお聴かせ致し。再轉して人間の性格の一方面をい** ます、此の曲は文化八年春中村歌 い 一回の放送に引聞き今月の長明

変化する、さらしてこれを馴らす ことに興味を持つてゐっ、それに そのうちでも鯉を馴らす

評判の大

行

がありの。二、三戸を鑑賞して がありの。二、三戸を鑑賞して 本本い 女流文藝の鑑賞 詞 高木市之助

●●◎ 緊昌商店 上三店主

お求め下さい 類! 今スグ







キング七月號の大特輯











職工の群の中へ成って来た。

各々の戦場に就からとしてある い、今歌食後の僅かな怀恵が終っ一般を発を暫くして用て来た例作

ねえつてことを思ひ知らせてやる しい、見ろ、俺達はその手に乗り やんと記録してやがるんだ。よろ

伊原は際しい眼をして、けたゝ

ار در کر

時間(第二放送・京城・平燧)同六時三〇分(城)兒童と先生の

題を一日も忘れわえかばか、笑は

ヤッ遊び廻つてゐるのが、精工の

「探りに、鍵命さんを呼んだんだな、

同二時三〇分(名)二の時間極恒電影隊 午後零時五分(東)二奏祭子供の心と保育の・・北島つ

き扱ってゐた高い連中の記牒を

際は態に確をいからせて、

午前一〇時三〇分(三)家庭調座

えよ、我々風情とおんなじ長出で

でれや、上に立つ人は上に立つ

中の後奏をみつけて進みよって来

らせ、自分の兩腕を手鎖り合はせ

ラデオ

併歴は勃発服の頑丈な身體を反

ったが伊藤さん、祇長さんが言つ

同土時10分(北)湖湖 小政府 (中土) 建国人特(大) 海河海河 (中土) 建国海河 (中土) 建国河南 (中土) 中山 (中土) 中山 (中土) 中山 (中土) 中山 (中土)

岩布配長に、すつかり見め込ま

ゆくやらに保守主義の主題を守つ

住小桃次外

船北汽

よいでのよび

うしありやこそ心配なしだ

時言
当
自
金
信

文店 神戸、名古屋、大連、窓夫、マニラー 東京市赤坂周溜池町十五番地 イリス 商 歯 ボッシュ 部

唄名曲選

平の出が少なくなりいつ ド・足・帯のあたる部分 手・足・帯のあたる部分

も遅やかな氣分です

斯克利威廉市东大 店商第三县田武 整 元 曾 题 町本 市京 東 店商保兵前医小 尖坡

なく不快な臭ひを無くし

- 強込のば少しの刺戦

神が一世間